大阪自然環境 保全協会の

はじめるの、今でしょ!

生物多様性「取り組みづくり/きっかけ体験」

支援事業

「生物多様性基本法」ができて、全国的に 生物多様性保全の取り組み が始まりつつあります。

生物多様性って、 ようわからん

けれども…?

どんなことせんと あかんのかなあ?



そんな皆さん・団体さんの 「?」「お悩み」-にこたえ、 取り組みのきっかけづくりを 保全協会が応援します!

この事業では…

①基礎的な知識

まず「生物多様性」とその保全などについて知っていただけます。

②課題と取り組み

保全などの課題をみいだし、取り組みについて学んでいただけます。

③施策・取り組みづくり

自治体の施策・各種団体等の取り組みづくりに向けた基礎的 支援が受けられます。

支援させていただく対象は… ※ 対象(主体)を複数にすることも可能です。

- ●自治体の職員や首長
- 議会議員
- 企業などの事業団体

- ●市 民
- 自然・環境・まちづくりなどの団体・サークル・NPO

支援は講義・研修形式などで実施、内容のメニューは以下の通り ※内容や開催回数などについては相談いたします。

- ●生物多様性/その保全・生態系サービス
- ●生物多様性地域戦略などの計画・戦略の例
- ●自然環境=山地・丘陵・農地・水辺などフィールド観察
- ●保全と利用・生態系サービスなどの考え方
- ●地域戦略など施策づくりへの課題/道すじづくり

詳しくは ウラ面へ

事業を行う形態

- a 当協会が主催し、希望団体等を対象に、またその募集参加者も含めて実施
- 当協会と希望団体等が共催し、希望団体等を対象に、またその募集参加者も含めて実施
- の 希望団体等が主催し、当協会が運営して、希望団体等やその募集参加者も含めて実施

・・・・・などです。

※ご相談により、ケースによっては、当協会が自主予算を拠出して実施する場合もあります。

主 催 ネイチャーおおさか 公益社団法人 大阪自然環境保全協会

大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202 TEL 06-6242-8720 E-mail: office@nature.or.jp

協賛 大阪環境パートナーシップネットワーク「かけはし」

後援 NPO 法人 大阪府民環境会議

生物多様性『取り組みづくり/きっかけ体験』支援事業

— 講習・体験などのメニュー内容は以下の通りです。 一部実施・選択もOKです — — 単発的な講師・スタッフ派遣も行います —

生物多様性/(自然)生態系/保全・生態系サービス活用

- ・生物多様性とは/「生物多様性」をめぐる状況/生物多様性の危機
- ・保全の施策・生態系サービスの活用/地域戦略などの計画

関係法制度/基本法と生物多様性地域戦略などの計画/戦略などの例

- ・関係法制度/自然・公園関係の計画/農業施策
- ・生物多様性基本法/地域戦略・計画・取り組みなどの例

地域の自然環境・生物多様性<1>山地・丘陵 <2>農地・水辺・市街地など

- 対象地域における主な自然環境の概容理解、把握
- ・自然環境フィールドの視察調査/自然環境基礎調査/生態系サービスの抽出

具体的な保全と生態系サービス活用などの考え方

- 保護保全の取り組み、生態系サービス活用の手法、地域的産業などへの利用
- ・生物多様性の危機についての課題化/生態系サービスについての活用化

生物多様性地域戦略など政策施策づくりへの課題/道すじづくり

・課題整理/生物多様性地域戦略など政策施策の指針づくりや骨子づくり ほか

■講 師・事例紹介 (※予定含む/実施日程によっては都合がつかない場合もあります)

武田 義明 〈たけだ・よしあき〉

・神戸大学名誉教授 紫金山みどりの会会長

夏原 由博 〈なつはら・よしひろ〉 大阪自然環境保全協会会長 名古屋大学大学院環境学研究科教授

長野 義春 〈ながの・よしはる〉 環境省環境カウンセラー 元国際湿地保全連合作業部会委員

藤原 宣夫 〈ふじわら・のりお〉

 大阪府立大学大学院生命環境科学部教授

宮川 五十雄⟨みゃがわ・いそお⟩ ↓ 生物多様性かんさい代表 森の都研究所代表

ほか

■大阪自然環境保全協会の生物多様性保全に関するおもな実績

- 〇 堺市、岸和田市、枚方市、吹田市、泉南市 などの自然環境調査(動植物生息状況調査) 堺市、岸和田市、枚方市では、市民参加調査を含む運営を実施
- 池田市・五月山の植生調査と里山保全計画の作成、大阪狭山市の植物調査と保全計画等の提案
- 生物多様性保全のキーワードの一つ里山保全に関する実践活動、保全リーダー養成講座の開催
- 生物多様性・自然環境保全ボランティアの養成講座の企画運営